

絵本の紹介

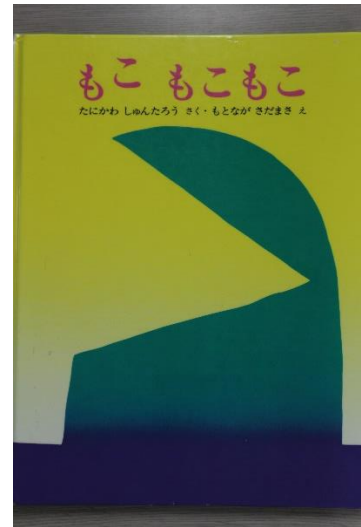


〈あい組〉

もこ もこ もこ

作：たにかわ しゅんたろう 絵：もとなが さだまさ

「もこ」「ぱちん」などの擬音語、破裂音が不思議で楽しく、色彩の変化もとてもきれいな絵本です。あい組の子どもたちにはピッタリな絵本で、何回も読んであげたい1冊です。簡単で真似しやすい言葉が喃語を誘うきっかけにもなるそうです。あい組にはこのような簡単な言葉の繰り返しのある絵本がおすすめです。今後もゆったりとした雰囲気の中で大人の膝の上に座ってたくさんの絵本に触れていこうと思います。



〈うみ組〉

ぽんちんぱん

作：柿木原 政広

ページをめくる度に出てくる“ぽんちんぱん”というワードは、いつの間にか子どもたちも口にするようになっていました。歌うようにリズムカルに読むと、より面白いです。いろいろなパンが出てきて、指でつまんで食べる真似をしたり保育者と食べさせっこをしたりしながら楽しんでいきます。繰り返しが大好きなこの時期の子どもたちにおすすめの1冊です。



〈はな組〉

できるかな？ あたまからつまさきまで

作：エリック・カール 訳：くどう なおこ

絵本を読んだ後に動物たちの動きを真似して楽しんでいます。真似っこ遊びをしながら身体を動かす楽しさを感じられると思います。「できるかな？」と言いながら動物の絵を見て真似する姿がかわいらしいですよ。

